

南区役所移転計画について

完成予定は4年後

耐震上危険性があり建て替えの方向で計画が進んでいる現在の南区役所は、浦舟町の市大医学部跡地に移転します。

市が直接建設することも決まり、12月議会の補正予算で、実施設計の予算がついています。

土木事務所・消防署・公会堂も移転

現在別所にある土木事務所のほか、消防署と公会堂も浦舟の新区庁舎と一緒に

建てられます。

区役所移転に伴い、中村町消防出張所は、現在の南区役所第2駐車場に新しく整備し移転する計画となっています。

そして移転後、現在の中村町消防出張所は更地にして、横浜市の財政局等で所管する方向です。

浦舟と真金町交番の統合も検討

現在、市大センター病院の入口にある浦舟交番と横浜橋商店街にある真金町交番

も、老朽化とパトカー

の駐車場などがないなどの実情から、地元町内会の合意を前提に、新区役所の一角に統合して新設するという計画もあります。

今後のスケジュールを明らかにし区民要望を反映させて

11月21日に開かれた区議団会議で、私・

が反映されるよう、今後のスケジュールを明らかにすること。

今この区役所よりアクセスが悪くなるので、その点での検討を始めること」などを要望しました。皆さんの声をお聞かせください

誰にとつても利用しやすい区役所となるよう、ぜひ私・あらきまでご意見をお寄せください。



くらしの相談はお気軽にあらき事務所へ

不安だからこそ測定したい！

中村・浦舟地域で放射線量の測定

中村にお住まいの市の基準で0.59

Kさんから「小学生がいたので、通学路や公園などの放射線量を測って欲しい」との要望があり、中村公園などに簡易測定器をもっていきま

マイクローベルトを超える場合は除去の対象となっているので、すぐに横浜市での放射線対策課へ連絡しました。そして先日、道路局の方が、サーベイメーター・シンチレーションという精密機器で再度測定するこ

した。浦舟5丁目の戸建て住宅の樋の下、地上1センチのところ

0.49マイクローベルトなので、この近辺の草などを除去

値が出ました。横浜

0.7マイクローベルトという数



あらき由美子の活動は、ブログで検索！



くらしの相談センターだより

所長 あらき由美子 2011年 12月 第34号

発行:南区くらしの相談センター ブログ:あらき由美子で検索
TEL:045-714-1820 FAX:045-714-1825 E-mail: mail2@araki-yumiko.jp
〒232-0056 横浜市南区通町1-12-4-104

11月の活動フアイル!

11月の活動

生活相談 9件

- ・介護付き高齢者住宅の入居手続き
- ・賃貸住宅物件探し
- ・放射線量の測定
- ・介護認定の手続き
- ・地デジ料金変更

議員活動

1日 中村地域で放射線量の測定

2日 年金者組合南支部10周年を祝う会



4日 衆議院第一議員会館で国政交渉
(外務省へ池子の米軍住宅追加建設について)



5日 別所地域で放射線の学習会
6日 中里地域で放射線の学習会と測定
7日 生活相談
8日 生活相談
9日 事務所会議

10日 放射線量測定
12日 六ッ川地域ケアプラザ祭り



13日 別所ふれあいまつり



14日 消防艇に乗り石油コンビナートの実態調査(次ページ参照)



18日 富士見中と吉田中の小規模校対策検討委員会の傍聴
南・西ブロック学童保育関係者の皆さんとの議員懇談会
20日 放射線量測定
21日 区議会会議
24日 女性議員の会で学習会

くらしの掲示板

☆根岸臨海地区の石油コンビナートを海上から視察

3月の東日本大震災の際、京葉臨海地区で起きた液化化によつてLPGタンクが倒れて爆発事故が起こりました。横浜市でも東日本大震災と同様な被害が生ずることが予想され、現有の消火力ではかなり切迫して厳しいことが、決算特別委員会における消防局長の答弁で明らかになっています。

☆横浜も危険性が

国の報告書では、護岸から50mの範囲で地盤が液化化して海に向かって移動する「側方流動」が、東京湾で発生する可能性を指摘されています。横浜港には、根岸・京浜臨海地区あわせて751の屋外石油タンクがあり、そのうち浮屋根式のタンクが78基です。浮き屋根式タンクは、地震の揺れで屋根の上に石油が漏れ出る危険性があり、

新しい耐震基準が定

められています。しかし、横浜港で耐震化が必要な49基の浮屋根式石油タンクのうち、新基準に適合しているのはわずか11基で、22・4%に留まっています。

☆対策は待ったなし

現地を海上から眺めて、石油コンビナートの防災対策は待ったなしと感じました。消火力の強化など、横浜市でできる対策をとにかく急がせたいと思っています。

あらきのほやき

次女の高校受験がいよいよ間近になってきました。4歳違いの姉の時と状況が違っているのにびっくり。経済的にも公立高校へ入って欲しいと思いますが、一番は本人が通いたい高校へ入れればと。「15の春は泣かせない」と私の母たちが運動し100校計画で公立高校を作った時代から30年が経ち、その数が減らされた結果、多くの生徒たちが辛い思いをしています。なんのための統合なのかと改めて思うこの頃です。